

まごころだより 高松

2023年夏号
令和5年7月1日発行

発行所 NPO法人 長寿社会支援協会(まごころケアサービス 高松センター)
〒761-8052 高松市松並町802番地1 TEL 087-865-8001 FAX 087-865-8039 E-mail magokoro@hyper.ocn.ne.jp URL http://cho-juu.info/
印刷所 株式会社成光社 〒760-0065 香川県高松市朝日町5-14-2 TEL/087-823-0222



うめ



あじさい



サボテンの花

残留農薬のお話し

NPO法人長寿社会支援協会

監事 木村 幸博

「沈黙の春」の著者 レイチェル・カールソンが、「小鳥がいなくなる」と言って、DDTという農薬の有害性を告発したのは1952年のことですが、それ以来、世界中で農薬に関する関心は高くなり、各国で規制も多く設けられています。

しかし、いくら規制しようとも、そもそも、薬品で人体にいい、もしくは影響がないなんてものが存在するでしょうか？防腐剤も人体に影響はないと言いますが、野菜がやたらと腐らない？とは思いませんか。食品に入った防腐剤が、回りまわって畑の野菜に浸透した？と私は思っています。

ブドウの種なし、果粒肥大処理は、実はジベレリンというホルモン溶液につけて行います。2回ほど行いますが、1回目が無種無しに、2回目が果粒肥大の効果を出すためです。であるならば、このジベレリン処理は大丈夫か？回りまわって、人体に？

ブドウに限らず果物は、種のある硬い皮のものが、身体には一番いい？とは思いませんか？



● 目次 ●

● 残留農薬のお話し	1	● 寄稿	3
● 各部会だより	2	● 脳トレ	3
居宅介護支援	2	● 会員だより	4
訪問介護	2	● 会員の唄	4
まごころサービス	2	● 編集後記	4
有料老人ホーム あかりの里	2		

■各部会だより

居宅介護支援

介護支援専門員の日々の業務での訪問先は、お一人暮らしの高齢者やご夫婦の世帯、また昼間お独りの高齢者世帯のお宅にお伺いするのがほとんどです。

しかし時にはご自宅ではなく、ご利用されているショートステイやデイサービス、デイケア、訪問介護事業所などの施設や病院にも訪問することもあります。そこで生き生きと働いているスタッフの方々とお話しする機会がありますが、若いお嬢さんから中年、ご利用者と変わらない高齢者の皆様が出迎えて下さいます。

会話の内容は、ご利用者の状態や体調などですが本当に真剣に「最近お昼のご飯を二日に一回位は半分程度しか召し上がらないんです」「肩のあたりが痩せたように持病が悪化したんでしようか」「今月になってしんどいという言葉が時々出るようになりましした」「自分では動けないんだけど、実物を見て買物したいとおっしゃるですよ」「先日、ご自分でトイレまで行かれました」とか熱心に話してくれます。

こんなに、まるでわが事、わが身内のように寄り添って痛みや喜びを感じて下さっているんだと本当に嬉



しくなります。それぞれの現場での業務は何かと大変な日々だと思いますが、ワンチームとしてしっかりと連携してお世話させて頂きたいと思っています。

訪問介護

この度「まごころ」訪問介護に四名の新しい仲間が加わりました。それぞれパッチワーク、小物作り、音楽鑑賞、読書を趣味としている方たち。人に対して打ち解けやすい、他人の話をよく聞くことが出来る、ゆつくり話が聞ける、事務処理ならおまかせ、とそれぞれの長所を持っておられます。



自立支援や生活援助、リハビリ、認知症対応を学びたいと皆さん意欲的。これから皆様にとっては新天地である「まごころ」で明るく楽しく新しい風を持つてきていただけたらと願います。皆さま頑張ってください。皆で応援しています。

まごころサービス

まだ梅雨があけず、鬱陶しい日々が続いていますが皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、まごころでは今年も事業所の庭に梅が沢山実ったので、恒例の梅ジャムを作りました。毎日、手作りのヨーグルトに手作りのジャムをのせて、美味しく頂いています。

小さな梅の木ですが、毎年沢山の実を付けて私達を喜ばせてくれます。

有料老人ホーム あかりの里

縁あって「あかりの里」に勤めはじめて六年、利用者様のお世話をさせて頂いています。大変なこともありましたが皆様によりよくしていただき、今も続けられています。

コロナの感染も落ち着いてきましたが気を緩めることなく、職員はもちろん利用者様が感染しないよう気を付けています。梅雨が明けると季節は厳しい夏の暑さへと移ります。食欲も落ちてきますが体調を整え、水分補給にも気を付け、ご利用者様が元気で過ごせるよう努めたいと思います。(M)

あかりの里で働き始めて19年になります。その中で初めての経験ですが、プロのカメラマンが来られて、事業所全体、台所、お部屋を撮影されたのです。しかもそこで説明する事になり私なりに頑張ってきたとは思いますが、今までに経験のない事態になって、感慨深い一時でした。ホームページか何かに掲載されるそうなので皆さまどうぞご覧ください。(I)



寄稿

「漆」

田中 雄太

はじめまして。突然ですが。皆さま、「漆」ってご存じでしょうか？
そうです。あの、かぶれる木のウルシです。

私は今まで、漆のかぶれる液って樹液だと思ってたんですけれど、実は樹液じゃないんですって。びっくりです。

香川県にやって来て、もうすぐ半年が過ぎようとしております。

香川県は日本一面積が小さい県ですが、ここには、多種多様な生業がまだまだ残っておりとても素晴らしいと思います。

かつて栄えた讃岐三白（砂糖、塩、



綿)もそうなのでしよう。

一次産業、二次産業、三次産業、そして六次産業と人の営みが息づいている地域だと感じる日々を過ごしております。

さて。今回の記事では「丸亀市の白杵春芳さんと漆」について少しだけご紹介させていただこうと思っております。

白杵さんは、現在丸亀市の実家へUターンされ漆の植樹から漆かき、漆器づくりまで一貫して行なっている職人さんです。漆の木を漆かきができるまで育てるのに多大な苦労があるというお話をお聞きしております。

日本の漆の木が減っている現状、そして漆かきの職人が減っていることをなげき、漆器の伝統文化を守り次の世代につなげるための活動をされています。現在、「NPO法人さぬき漆保存会」で活動をされています。

香川県の「みどりの学校」を通じて漆について知ってもらうための活動をされています。

ちなみにですが、漆の草木染めはめっちゃくちゃきれいなお色に染まっておりますよ。

白杵さんの活動は「讃岐の地で漆を植えて、讃岐の地で育った漆を

掻き、掻いた後の漆の木も漆器づくりなどへと活用していく」

昨今話題の「サステイナブル（持続可能）」というやつですね。

言うは易し。白杵さんの場合、一次産業の営みと同じで、多大な手間と膨大な時間が必要になっていきます。具体的には一本の木を掻きはじめるまでに10年ほど、一本の木からは1年間に牛乳瓶一本分のウルシが取れるほどと。一番大変なのは草刈り管理だそうです。漆の植樹が、周りの野草に負けることも多々あるそう。

さて、そうして出来上がった漆器作品にはどのぐらいの価値があるのでしょうか？

最後に私の感想ですが、白杵さんは誇りを持って仕事をしている職人さんでありながらも、うまくいかどうかもわからない実践に付き合ってください。柔軟さ・寛容さをお持ちです。

そして次の担い手・文化が継続されるようにという想いと行動力には感服いたします。この人徳をいつまでも忘れないで、同じようにもありがたいなあと感じさせ



て頂きました。白杵さん、また遊びに行きますね。



脳トレ

「あ」から始まる5文字の言葉を見つけましょう。 ※小文字で使用しても可

あ	い	ち	さ	ち	
あ	あ	き	い	や	
い	あ	か	か	く	
ら	い	あ	う	て	
し	る	み	ら	い	
あ	い	よ	か	め	よ
き	あ	き	く	あ	じ
た	き	ど	や	あ	い
け	ん	あ	あ	る	あ
ん	や	い	い	う	う

会員だより

ゆうゆう背もたれ

小さい頃は背中を見て育つと言われるけれど、年老いてきたなら、背を腰を背もたれに預けよう。そういう風に投げかけていると静かな時間が流れてゆく。流れる時間のままにただもたれていよう。

そんなじぶんでもいいんだよ。痛みには、出直せばいいよとのセルフケアでもあり。

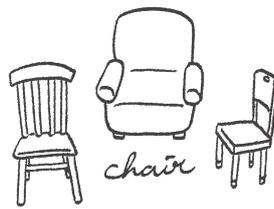
そんな自分でしかたないが、しかし、人が手いっぱいであっても、人からも何かをいただきたい。

小さな自分はテレビ、ラジオの聞きかじり、大きな自分よりハビリを受けて

いろんな感情を持ちながら、瞑想などが訪れるままに

ゆっくりゆったり背を腰を、背もたれに預けていよう。

小西路



会員の唄



音色の精 俳句 連作 六歌選
唐倫林 年寿記念
2017.10.22 唐後歳一90+

◎ 静けさ 天命金うろ年一期一命 五年 三十年 三十年
◎ 古池 燈籠が込む 水の音
◎ 蓮葉の 一瞬に待つ 閑く音
◎ 風流も 時代と共に 変る音
◎ 本費越え 眠りに落ちる吐息の音

人生一路 野生成長・創拓人生・悟り余金
天目不知・回天志・感謝敬天
隱居

編集後記

6月15日のラジオより

この20年間、アフガニスタンへ日本の子供たちが6年間使ったランドセルを送っている日本のNGOの活動が報告されました。宗教上、豚の皮が使われていないランドセルをきちんと手入れし、これまでに26万個が送られたそうです。ランドセルを買えない人達にとって、プラスチックの買い物袋がバックであり、山道の通学にランドセルは両手が使え、机替わりにもなっていると伝えられていました。

香川県にはまごころネットワークとして7か所のセンターがあり、各センターでは年3〜4回の会報発行を行っています。その1つ、まごころケア国分寺あじさいの会の会報に職員の方の長女桃花ちゃんが登場されました。今3か月頃でしょうか。皆様に見て頂く事ができないのが非常に残念ですが、お母さんのしっかりとった文章と共に、愛らしく、たくましく元気に育ちゆく姿がありました。かつて、まごころにも楽しくも悩みながら子育てをしている会員が何と多かったです。今、その知恵を持って先のアフガニスタンの子供たちとも、桃花ちゃんたちとも関わっていくことができる時代がきているように思えました。

皆さまと知恵を出し合って、周りの方たちとの関わりを広げていきたいと思っています。これからの暑さの本番、体調に気を付けながら乗り切ってくださいませ。

クイズの答え

くうんうんいんかやく
やんうんうんいんかやく
ちやんうんいんかやく
あいかきみらいたさい
あいかきみらいたさい
あいかきみらいたさい
あいかきみらいたさい
あいかきみらいたさい
あいかきみらいたさい
あいかきみらいたさい